

データ一覧

● 環境	220
● 社会	229

データ一覧

▼主要経営データ | ▼環境データ | ▼社会データ

サントリーグループ サステナビリティサイトなどで報告している主要指標（経営・環境・社会）の実績をまとめています。

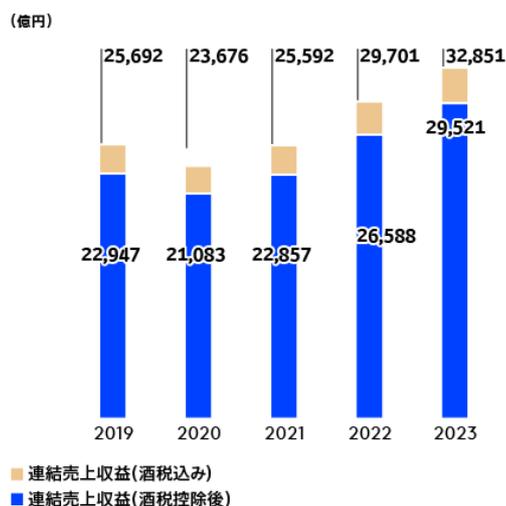
★を付けている実績は、KPMGあずさサステナビリティ株式会社による、国際保証業務基準（ISAE）3000、ISAE3410に準拠した第三者の保証を受けています。

[第三者保証報告書](#) 

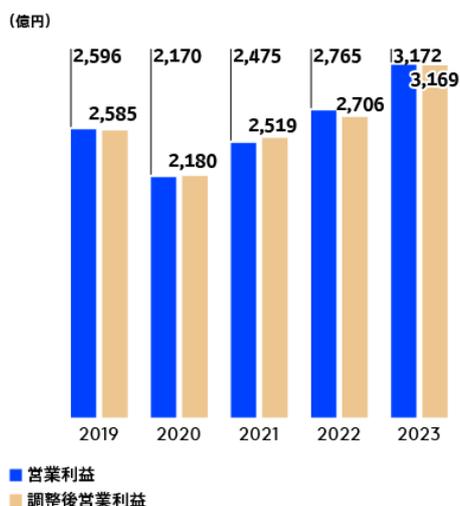
主要経営データ

連結経営成績

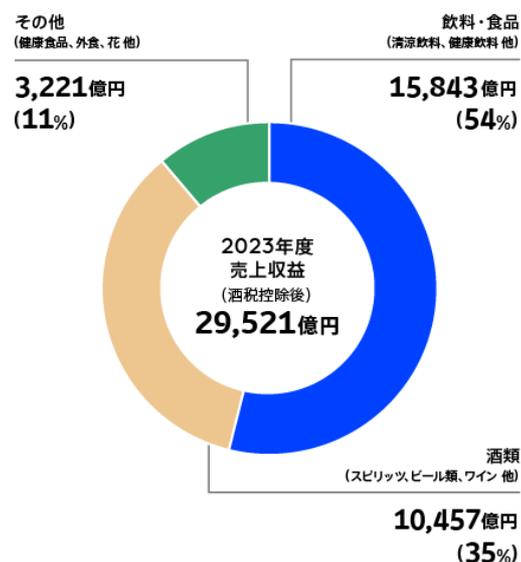
連結売上収益



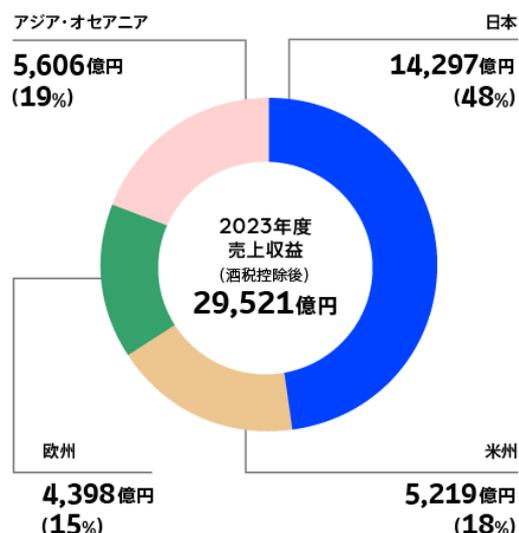
連結営業利益



事業セグメント別売上



地域別売上



2023年(億円)

経済的貢献	1.a. 収益	29,521
	1.b. 事業コスト	10,187
	1.c. 従業員給与と諸手当	4,536
	1.d. 資本提供者への支払	708
	1.e. 政府への支払い	833
	1.f. コミュニティへの投資	73
	2. 政府から受けた資金援助	-
財務的投資による貢献	1.総資本支出－減価償却費	664
	2.自社株買いと配当の合計	442
研究開発費総額		298
支払われた税の総額		833

※ 世界経済フォーラム国際ビジネス協議会の提言する「Measuring Stakeholder Capitalism—Toward Common Metrics and Consistent Reporting of Sustainable Value Creation」の中核測定基準（Core metrics）に基づいて開示

環境データ

目標と実績<水>

2030年目標	2023年実績
<p>【工場節水】 自社工場※¹の水使用量の原単位をグローバルで35%削減※²。 特に水ストレスの高い地域においては、水課題の実施を評価し、水総使用量の削減の必要性を検証</p>	<p>原単位15年比28%削減</p>
<p>【水源涵養】 自社工場※¹の半数以上で、水源涵養活動により使用する水の100%以上をそれぞれの水源に還元。特に水ストレスの高い地域においてはすべての工場で上記の取り組みを実施</p>	<p>全世界の自社工場の41%で水源涵養を実施。水ストレスの高い地域にある工場においては、その37%で活動を実施</p>
<p>【原料生産】 水ストレスの高い地域における水消費量の多い重要原料※³を特定し、その生産における水使用効率の改善をサプライヤーと協働で推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 再生農業による大麦生産の取組みの一環として、土壌の保水性向上による水使用効率の改善に関する検証をサプライヤーと協働して開始 ブラジル・セラード地域のコーヒー農家に対して、再生農業を通じた水利用の評価・支援等を行うパイロットプログラムの構築を開始
<p>【水の啓発】 水に関する啓発プログラムに加えて、安全な水の提供にも取り組み、あわせて100万人以上に展開</p>	<p>累計107万人に展開 次世代環境教育「水育」などの水啓発プログラム：71万人 安全な水の提供：36万人</p>

※¹ 製品を製造するサントリーグループの工場

※2 2015年における事業領域を基準とする

※3 コーヒー、大麦、ブドウ

水関連データ（グループ全体）

	単位	2015年基準年	2021年	2022年	2023年
総取水量	千m ³	-	39,419	39,576	38,775★
水原単位	m ³ /kl	4.53	3.58	3.30	3.26
排水量	千m ³	-	24,019	24,092	24,496★
水消費量	千m ³	-	15,400	15,484	14,279

※ 2015年（基準年）は国内生産25工場、海外生産59工場が対象 2023年は国内生産27工場、海外生産62工場が対象

※ KPMGあずさサステナビリティ株式会社による第三者保証を受けています。第三者保証の対象となっている数値を★で示しています。

取水量の推移（地域別）

エリア	使用量（千m ³ ）		
	2021年	2022年	2023年
日本	20,461	21,230	21,713
米州	6,253	4,919	4,361
欧州	5,985	6,270	5,810
アジア	6,212	6,761	6,469
オセアニア	424	397	422
アフリカ	84	-	-
計	39,419	39,576	38,775★

※ 2015年（基準年）は国内生産25工場、海外生産59工場が対象 2023年は国内生産27工場、海外生産62工場が対象

※ KPMGあずさサステナビリティ株式会社による第三者保証を受けています。第三者保証の対象となっている数値を★で示しています。

取水量の推移（水源別）

取水源	水使用量（千m ³ ）		
	2021年	2022年	2023年
地下水	17,129	17,520	17,530★
河川・湖	5,565	3,986	3,382★
雨水	0	0	2★

第三者の水源	16,725	18,070	17,861★
外部から供給されている水（再生水）	0	0	0★
計	39,419	39,576	38,775★

※ 2023年は国内生産27工場、海外生産62工場が対象

※ KPMGあずさサステナビリティ株式会社による第三者保証を受けています。第三者保証の対象となっている数値を★で示しています。

排水量の推移（放流先別）

放流先	排水量（千m ³ ）		
	2021年	2022年	2023年
河川・湖沼	14,204	14,283	14,874★
海	1,088	1,086	1,471★
下水道	8,614	8,599	7,989★
その他（植栽への散水など）	113	124	162★
計	24,019	24,092	24,496★

※ 2023年は国内生産27工場、海外生産62工場が対象

※ 過年度からの変更点

- ・ 2023年は一部拠点で放流の計上先を「下水道」から「河川・湖沼」へ変更しています。
- ・ 2023年における「海」への排水量は、一部拠点で冷却水分の排水量を計上したため増加しています。

※ KPMGあずさサステナビリティ株式会社による第三者保証を受けています。第三者保証の対象となっている数値を★で示しています。

「水育」などの水の啓発プログラム参加人数（人）

エリア	2021年	2022年	2023年
日本	22,100	24,600	35,000
ベトナム	44,700	61,100	57,800
タイ	6,600	3,700	5,900
フランス	400	300	700
中国	4,000	18,700	26,700
スペイン	－	400	1,200
イギリス	－	－	600
ニュージーランド	－	－	5,500

※ 参加者人数には、児童、保護者、教員、「水育」講師を含みます。

目標と実績<GHG>

2030年目標	2023年実績
自社拠点でのGHG排出量を50%削減※1	自社拠点でのGHG排出量 基準年比24%削減
バリューチェーン全体におけるGHG排出量を30%削減※1	バリューチェーン全体におけるGHG排出量 基準年比7.8%削減

※1 2019年の排出量を基準とする

自社拠点でのGHG排出量

エリア	スコープ	排出量（スコープ1：千t-CO ₂ e、スコープ2：千t-CO ₂ ）			
		2019年 （基準年）	2021年	2022年	2023年
日本	スコープ1	250	246	233	215
	スコープ2	183	172	58	37
	スコープ1+2	433	418	292	253
米州	スコープ1	162	179	209	194
	スコープ2	63	13	10	0
	スコープ1+2	225	192	220	194
欧州	スコープ1	108	107	91	100
	スコープ2	17	1	0	0
	スコープ1+2	125	108	91	100
アジア	スコープ1	51	50	55	47
	スコープ2	153	155	179	170
	スコープ1+2	204	206	234	217
オセアニア	スコープ1	11	9	6	8
	スコープ2	7	4	1	1
	スコープ1+2	19	13	7	9
アフリカ	スコープ1	7	8	-	-
	スコープ2	1	0	-	-
	スコープ1+2	8	8	-	-
計	スコープ1	590	599	594	564

	スコープ2	424	345	248	208
	スコープ1+2	1,014	944	843	772

※ 集計範囲は、サントリーグループ全体のGHG排出量を集計しています。

上記772千t-CO₂eのうち、海外生産拠点のCO₂以外のGHGおよび海外非生産拠点のCO₂を除いた、スコープ1・2排出量721千t-CO₂e★（スコープ1：515千t-CO₂e★、スコープ2：206千t-CO₂e★）に対して第三者保証を受けています。第三者保証の対象とした拠点は以下の通りです。

国内生産27工場、海外生産62工場、国内非生産拠点（本社、研修センター等間接部門、研究開発拠点、営業拠点、外食・開発拠点）

※ KPMGあずさサステナビリティ株式会社による第三者保証を受けています。第三者保証の対象となっている数値を★で示しています。

※ GHG排出量の算出係数は下記の通り。

燃料：

（国内）省エネ法（エネルギーの使用の合理化等に関する法律、以下同じ）、温対法（地球温暖化対策の推進に関する法律、以下同じ）で定められた係数（算定省令改正前の値を採用）

（海外）燃料調達先より入手した係数または省エネ法・温対法で定められた係数（算定省令改正前の値を採用）

電力由来GHG：

（国内）温対法で定められた電力会社別の調整後排出係数

（海外）電力調達先より入手した排出係数を原則とし、入手できない場合は、IEA公表の国別排出係数

CO₂以外のGHG：

（国内27工場）温対法で定められた係数

※ 数値については四捨五入しているため、合計があわない場合があります。

エネルギー使用量（グループ全体）

	2021年	2022年	2023年
エネルギー使用量(MWh)	4,019,785	4,173,252	4,122,342
うち再生可能エネルギー使用量(MWh)	416,234	787,831	950,977
エネルギー原単位(Mwh/KL)	0.37	0.35	0.35
電力使用量 (MWh)	-	-	1,194,505

※ 上記、再生可能エネルギー使用量および電力使用量については、海外非生産拠点を除いた実績において第三者保証を受けています。

再生可能エネルギー使用量：949,169MWh★、電力使用量：1,188,671MWh★

第三者保証の対象とした拠点は以下の通りです。

国内生産27工場、海外生産62工場、国内非生産拠点（本社、研修センター等間接部門、研究開発拠点、営業拠点、外食・開発拠点）

※ KPMGあずさサステナビリティ株式会社による第三者保証を受けています。第三者保証の対象となっている数値を★で示しています。

※ 電力使用量には自家発電量も含まれます。

スコープ3排出量（2023年実績）

サントリーグループ全体

カテゴリ	排出量 (千t-CO ₂ e)	算定方法
1. 購入した物品、サービス	4,490★	[原料・包材]サントリーグループが製造・販売する商品の原料や包装資材の購入/使用重量に、排出係数を乗じて算出しています。カテゴリ1のGHG排出量の46%は、原料と包装資材を供給するサプライヤーのGHG排出量から算出した排出係数を用いて算定しています。なお、当期において、アジア・オセアニアの包装資材の排出係数出典元を主に従来のDefraからIDEAVer3.3に変更しています。 [製造委託先]サントリーグループ(国内)、Suntory Global Spirits、Suntory Beverage & Food Europe、Suntory Beverage & Food Oceaniaが製造を委託した製品の生産量に排出係数を乗じて算出しています。

2. 資本財	376★	サントリーグループの設備投資額（土地を除く）に、排出係数を乗じて算出しています。
3. スコープ1、2に含まれない燃料およびエネルギー関連活動	148	サントリーグループのエネルギー使用量に、当該エネルギー資源の採集、生産及び輸送にかかる排出係数を乗じて算出しています。
4. 輸送・流通（上流）	394	サントリーグループの輸送量（トンキロ）に、排出係数を乗じて算出しています。
5. 事業から発生する廃棄物	11	サントリーグループの廃棄物重量に、排出係数を乗じて算出しています。
6. 出張	35	サントリーグループの出張費に、排出係数を乗じて算出しています。
7. 従業員の通勤	41	サントリーグループの通勤費に、排出係数を乗じて算出しています。
8. リース資産（上流）	29	サントリーグループの他社所有配送センターにおける保管数量と面積に、排出係数を乗じて算出しています。
9. 輸送・流通（下流）	289	サントリーグループの輸送量（トンキロ）に、排出係数を乗じて算出しています。
10. 販売した商品の加工	—	該当なし
11. 販売した商品の使用	104	サントリーグループの販売量に、排出係数を乗じて算出しています。
12. 販売した商品の廃棄	518★	サントリーグループの包装資材の購買/使用重量に、廃棄/リサイクルの輸送及び処理に係る排出係数を乗じて算出しています。
13. リース資産（下流）	343★	サントリーグループ（国内）の賃貸機材の電力使用量に、排出係数を乗じて算出しています。
14. フランチャイズ	16	サントリーグループ主宰のフランチャイズ加盟企業・店舗における排出量を算出しています。
15. 投資	—	該当なし
合計	6,794	

※ サントリーグループ（国内・海外）の飲料・食品事業、酒類事業および健康食品事業が対象です。海外グループ会社の一部は、国内の排出係数や生産量を用いて推計しています。

※ 国内の排出係数は主に以下のデータベースによっています。

a) 「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver3.3）」

b) 「LCIデータベース IDEA version 3.3」（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門 社会とLCA研究グループ 一般社団法人 サステナブル経営推進機構）

※ KPMGあずさサステナビリティ株式会社による第三者保証を受けています。第三者保証の対象となっている数値を★で示しています。

サントリー食品インターナショナル株式会社

カテゴリ	排出量 (千t-CO ₂ e)	算定方法
1. 購入した物品、サービス	3,251★	[原料・包材]サントリー食品インターナショナルグループ（国内・海外）が製造・販売する商品の原料や包装資材の購買/使用重量に、排出係数を乗じて算出しています。カテゴリ1のGHG排出量の41%は、原料と包装資材を供給するサプライヤーのGHG排出量から算出した排出係数を用いて算定しています。なお、当期において、アジア・オセアニアの包装資材の排出係数出典元を主に従来のDefraからIDEA Ver3.3に変更しています。 [製造委託先]サントリー食品インターナショナルグループ(国内)、Suntory Beverage & Food Europe、Suntory Beverage & Food

		Oceaniaが製造を委託した製品の生産量に排出係数を乗じて算出しています。
2. 資本財	172★	サントリー食品インターナショナルグループの設備投資額（土地を除く）に、排出係数を乗じて算出しています。
3. スcope1、2に含まれない燃料およびエネルギー関連活動	85	サントリー食品インターナショナルグループのエネルギー使用量に、当該エネルギー資源の採集、生産及び輸送にかかる排出係数を乗じて算出しています。
4. 輸送・流通（上流）	221	サントリー食品インターナショナルグループの輸送量（トンキロ）に、排出係数を乗じて算出しています。
5. 事業から発生する廃棄物	6	サントリー食品インターナショナルグループの廃棄物重量に、排出係数を乗じて算出しています。
6. 出張	10	サントリー食品インターナショナルグループの出張費に、排出係数を乗じて算出しています。
7. 従業員の通勤	25	サントリー食品インターナショナルグループの通勤費に、排出係数を乗じて算出しています。
8. リース資産（上流）	23	サントリー食品インターナショナルグループの他社所有配送センターにおける保管数量と面積に、排出係数を乗じて算出しています。
9. 輸送・流通（下流）	233	サントリー食品インターナショナルグループの輸送量（トンキロ）に、排出係数を乗じて算出しています。
10. 販売した商品の加工	—	該当なし
11. 販売した商品の使用	89	サントリー食品インターナショナルグループの販売量に、排出係数を乗じて算出しています。
12. 販売した商品の廃棄	405★	サントリー食品インターナショナルグループの包装資材の購買/使用重量に、廃棄/リサイクルの輸送及び処理に係る排出係数を乗じて算出しています。
13. リース資産（下流）	313★	サントリー食品インターナショナルグループ（国内）の賃貸機材の電力使用量に、排出係数を乗じて算出しています。
14. フランチャイズ	9	サントリー食品インターナショナルグループが主宰のフランチャイズ加盟企業・店舗における排出量を算出しています。
15. 投資	—	該当なし
合計	4,843	

※ サントリー食品インターナショナルグループ（国内・海外）が対象です。海外グループ会社の一部は、国内の排出係数や生産量を用いて推計しています。

※ 国内の排出係数は主に以下のデータベースによっています。

a) 「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver3.3）」

b) 「LCIデータベース IDEA version 3.3」（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門 社会とLCA研究グループ 一般社団法人 サステナブル経営推進機構）

※ KPMGあずさサステナビリティ株式会社による第三者保証を受けています。第三者保証の対象となっている数値を★で示しています。

SOx排出量

	2021年	2022年	2023年
排出量 (t)	3.4	2.1	2.4

原単位 (g/kℓ)	0.7	0.4	0.5
------------	-----	-----	-----

※国内生産27工場が対象

NOx排出量

	2021年	2022年	2023年
排出量 (t)	141.8	108.1	114.0
原単位 (g/kℓ)	29.8	21.1	21.8

※国内生産27工場が対象

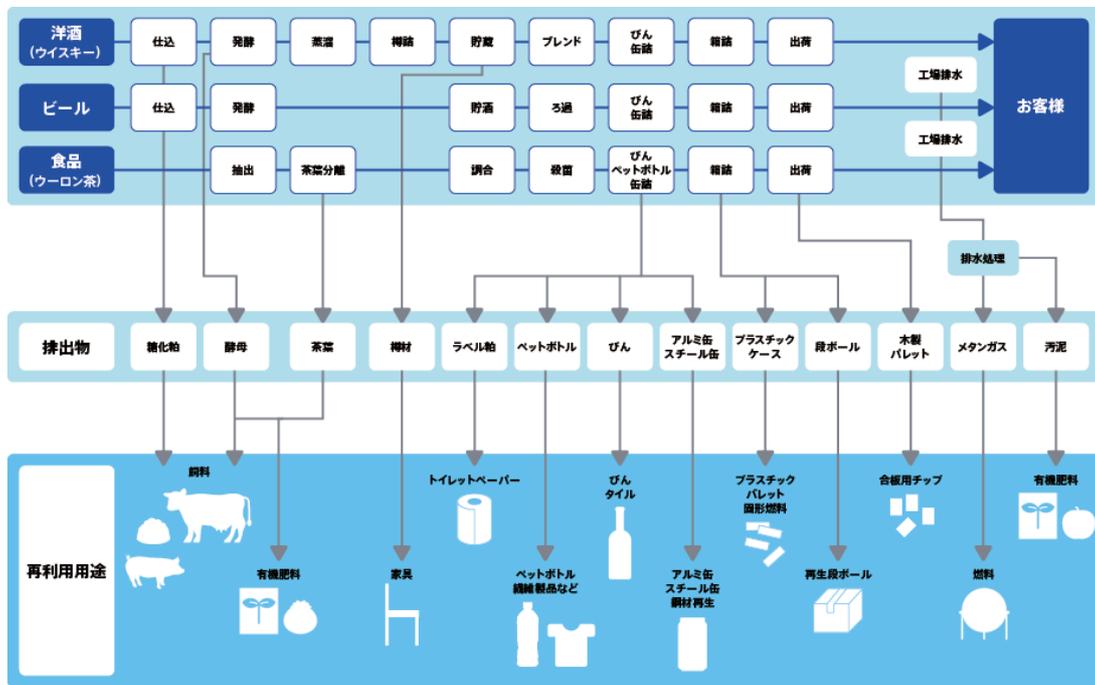
副産物・廃棄物排出実績

エリア	排出量 (千t)		
	2021年	2022年	2023年
日本	218	230	271
米州	410	541	427
欧州	119	144	166
アジア	30	54	32
オセアニア	7	6	3
アフリカ	0	-	-
計	783	975	900

※ 国内生産27工場、海外生産62工場が対象

国内工場の再資源化率と生産の各工程で発生する副産物・廃棄物の再利用の流れ

	2021年	2022年	2023年
排出量 (千t)	218	230	271
再資源化量 (千t)	217	230	271
再資源化率 (%)	99.7	100.0	99.9



副産物・廃棄物の排出量、再資源化率および用途

排出物の種類	主要用途	2021年		2022年		2023年	
		排出量 (t)	再資源化率 (%)	排出量 (t)	再資源化率 (%)	排出量 (t)	再資源化率 (%)
植物性残さ (糖化粕・茶粕・コーヒー粕など)	・飼料 ・肥料	158,823	100	167,855	100	203,440	100
汚泥 (余剰汚泥など)	・肥料	27,337	100	28,396	100	30,444	100
木くず (樽材、パレット)	・家具材 ・合板原料	5,267	100	3,658	100	4,243	98
ガラス・陶磁器くず	・ガラス材料 ・路盤材	1,337	100	1,172	100	1,224	100
紙くず (段ボール、紙ラベルなど)	・再生紙 ・段ボール原料	5,398	100	5,735	100	5,671	100
廃プラスチック類	・パレット ・固形燃料 ・補助燃料	5,796	100	5,810	100	6,036	100
金属くず (アルミ、鉄)	・アルミ ・スチール原料	3,506	100	3,123	100	3,033	100
その他		9,731	100	13,979	100	16,863	100
合計		217,925	100	229,728	100.0	270,953	100

※国内生産27工場が対象

環境教育研修受講者実績

名称	対象	受講者数
入社時研修（環境経営講義）	新入社員	全員
ISO14001認識・特定教育	工場従業員	全員
サステナビリティ経営啓発研修（e-ラーニングなど）	国内グループ従業員	20,559名
ISO14001内部監査員研修	ISO14001内部監査担当者	59名
環境法令研修	関連する部門の従業員	70名
廃棄物管理基礎セミナー	関連する部門の従業員	356名

社会データ

従業員構成比

従業員構成	2021年	2022年	2023年	対象範囲
サントリーグループ従業員数（人）	40,275	40,885	41,511	サントリーグループ全体
国内グループ（人）	18,671	18,923	19,330	
海外グループ（人）	21,604	21,962	22,181	
内、サントリーホールディングス、サントリー食品インターナショナル籍の従業員の構成（人）	7,291	7,385	7,723	SHD/SBF籍従業員
正規社員（人）	6,997	7,078	7,411	
（平均年齢）（歳）	43	43	43	
役員（人）	62	67	66	
顧問（人）	33	34	25	
非正規社員（契約社員など）（人）	158	166	184	
その他（プロスポーツ選手など）（人）	41	40	36	

人材流動性

人材流動性	2021年	2022年	2023年	対象範囲
新規入社者数（人）	146	209	270	SHD/SBF籍正規社員

人材流動性		2021年	2022年	2023年	対象範囲
新卒入社者数 (人)		113	114	168	
経験入社者数 (人)		33	95	102	
退職者数 (自己都合、定年、死亡、懲戒含む) (人)		186	200	212	
内、自己都合退職者 (人)		56	56	62	
離職率 (%)		0.8	0.8	0.9	
新卒入社者5年在職率 (%) ※1		90	90	88.2	
平均勤続年数 (年)		18.0	18.0	17.7	

※1 2016年～2018年のサントリーホールディングス・サントリー食品インターナショナルの新卒採用者（正規社員）を対象に計算

キャリア

キャリア	2021年	2022年	2023年	対象範囲
社内公募※1エントリー数 (件数)	191	249	226	SHD/SBF籍正規社員
社内公募合格者数 (人)	31	36	31	
キャリアビジョン面談実施率※2 (%)	98.1	97.2	97.4	
キャリアビジョン： 現業のやりがい (5点満点中) (点)	4.1	4.1	4.13	
キャリアビジョン： 現業の満足度 (5点満点中) (点)	3.8	3.8	3.8	
副業・兼業人数 (人)	94	139	136	
「有言実行やってみなはれ大賞」※3 エントリー数 (件数)	300	483	482	サントリーグループ全体
「FRONTIER DOJO」(2021年～) ※4 エントリー数 (件数)	294	97	105	国内グループ
キャリアワークショップ受講者数※5				
入社3年次 (2022年～) /4年次 (～2021年) ※6 (人)	129	303	127	SHD/SBF籍正規社員
入社10年次 (人)	298	121	160	
40歳代(43歳必須 (2021年～)、応募型) (人)	230	253	288	
50歳代 (58歳必須、応募型) (人)	243	191	181	

キャリア	2021年	2022年	2023年	対象範囲
キャリア推進センターによるキャリア面談件数（件数）	888	1,409	1,929	

※1 過去の発想にとらわれない、新しい力を育成し、各事業と従業員の成長に繋げるための施策

※2 「キャリア自律を通じた一人ひとりの成長、人材育成も含めた適正な配置への活用」を目的とし、自分自身のキャリアについてマネジャーと一緒に考える機会として年1回実施するもの

※3 自ら旗を掲げ、従来のやり方にとらわれないまったく新しい発想に基づくチャレンジングな活動によって「やってみなはれ」を実践したチームを表彰するもの

※4 イノベーションを生み、未来のサントリーをつくるために2021年から始まった社内ベンチャープロジェクト

※5 「中長期的なキャリア充実・より一層のキャリア自律」を目的とし、自分自身のキャリアについて、ワークショップ形式で考える機会として節目の年代毎に実施するもの

ラーニング

ラーニング	2021年	2022年	2023年	対象範囲
一人当たりの教育研修費（年間）（円）	-	301,000	368,000	SHD/SBF籍従業員
Suntory Self-Development Program（自己啓発）				
応募型研修参加者数（人）	848	3,810	2,757	SHD/SBF籍従業員
e-ラーニング実施者数（人）	775	1,015	1,042	
寺子屋参加者人数※1（人）	32,196	27,465	29,524	国内グループ
グローバル育成施策受講者数				
Global Leadership Forum（人）	16	15	21	サントリーグループ全体
Suntory Harvard Program（人）	-	31	20	
Beyond Borders（人）	25	26	26	
Global Leadership Development Program（人）	26	29	50	
Ambassador Program（人）	39	26	-	海外グループ
トレーニー合格者数（人）	23	21	26	SHD/SBF籍正規社員
グローバル学部利用者数（2022年開校）（人）	-	2,313	3,650	国内グループ

※1 より主体的に学ぶ風土を醸成するため、「学ぶ」「つながる」「教えあう」をコンセプトにした学びのプラットフォーム

ジェンダー	2021年	2022年	2023年	対象範囲
新規入社者に占める女性比率 (%)	37.0	48.0	49.6	SHD/SBF籍正規社員
女性従業員比率 (%)	25.5	26.2	27.6	SHD/SBF籍正規社員
年齢別女性従業員比率				
20代 (%)	42.6	42.6	44.9	SHD/SBF籍正規社員
30代 (%)	29.2	30.7	32.1	
40代 (%)	21.1	21.8	23.0	
50代 (%)	20.4	20.7	20.6	
60代 (%)	13.1	15.6	16.8	
女性管理職の人数 (人)	196	197	215	SHD/SBF籍正規社員
女性管理職比率 (%)	11.2	11.1	11.8	
女性役員の人数 (人)	4	4	7	SHD/SBF籍役員
女性役員比率 (%)	6.5	6.0	10.6	
男女の賃金差異※				
全従業員 (%)		72.4	72.1	SHD/SBF籍従業員
正規雇用労働者 (%)		72.9	72.4	SHD/SBF籍正規社員
非正規雇用労働者 (%)		41.5	52.8	SHD/SBF籍非正規社員・その他

※ SHDが雇用するスポーツ選手を含む数値

育児・介護との両立	2021年	2022年	2023年	対象範囲
育児休職取得人数 女性 (人)	102	104	104	SHD/SBF籍正規社員
取得率 (%)	105.2	108.3	96.3	
育児休職取得人数 男性 (人)	134	154	205	
取得率 (%)	58.3	79.8	98.1	
ジョブリターン当年登録者数 (人)	14	11	6	
介護休職人数 (人)	2	0	2	
ホームヘルパーサービス利用者数 (人)	4	3	0	

シニア	2021年	2022年	2023年	対象範囲
65歳再雇用者数（人）	37	39	36	SHD/SBF籍正規社員
再雇用者率（%）	37	40	39	

障がい者雇用	2021年	2022年	2023年	対象範囲
障がい者雇用数 サントリーホールディングス	108	105	117	SHD籍正規社員
雇用率（%）	3.07	3.04	2.97	
障がい者雇用数 サントリー食品インターナショナル	41	41	41	SBF籍正規社員
雇用率（%）	2.69	2.65	2.69	

働き方

働き方	2021年	2022年	2023年	対象範囲
年間有給休暇取得日数 ^{※1} （日）	17.1	17.6	17.6	SHD/SBF籍正規社員
月間平均残業時間（時間）	18.5	18.7	19.2	国内グループ ^{※2}

※1 年間 16日以上有給休暇を取得することを全従業員に推奨

※2 サントリーホールディングス、サントリー食品インターナショナル、サントリー、サントリープロダクツ、サントリーフーズ、サントリービジネスシステム、サントリーウエルネス、サントリーグローバルイノベーションセンター、サントリーシステムテクノロジーのメンバー層が対象

労働安全

労働安全	2021年	2022年	2023年	対象範囲
休業災害強度率（%）	0.000	0.000	0.001	国内グループ ^{※1}
休業災害度数率（LTIR） ^{※2}	0.07	0.14	0.21★	
労働安全衛生教育人数（人）	717	712	656	
従業員一人当たりの年間総実労働時間（時間）	1,874	1,869	1,846	
労働災害による死亡者数（人）	0	0	0	SHD/SBF籍正規社員

※1 サントリーグループ各社（国内）の正社員、嘱託社員およびアルバイトなどを対象に労働災害データを把握しています。サントリーホールディングス（株）、サントリー食品インターナショナルグループ（サントリー食品インターナショナル（株）、サントリーフーズ（株）、サントリープロダクツ（株））、サントリー（株）、サントリーウエルネス（株）、サントリービジネスシステム（株）、サントリーシステムテクノロジー（株）、サントリーグローバルイノベーションセンター（株）

※2 休業災害度数率（LTIR）（%）= 労働災害による4日以上の休業を伴う死傷者数 ÷ 延べ実労働時間 × 百万時間

※ KPMGあずさサステナビリティ株式会社による第三者保証を受けています。第三者保証の対象となっている数値を★で示しています。

労働慣行

労働慣行	2021年	2022年	2023年	対象範囲
団体交渉権をもつ従業員の割合 (%)	55.8	54.5	52.5	SHD/SBF籍正規社員

健康

健康	2021年	2022年	2023年	対象範囲
健康診断受診率 (%)	99.4	100.0	100.0	国内グループ※3
再検査・精密検査受診率 (%)	74.1	83	91.1	
特定保健指導基準対象者率 (%)	21.4	21.4	21.4	
禁煙 非喫煙率 (%)	82.7	83.5	83.1	
ストレスチェック受検率 (%)	94.8	90.5	90.5	
非高ストレス判定率 (%)	93.0	91.8	91.9	
プレゼンティーズム※1 (%)	79.2	79.1	79.8	
アブセンティーズム (傷病欠勤日数) ※2 (日)	0.5	0.7	0.7	

※1 病気やケガがない時を 100%とした場合の仕事の生産性 4週間の平均

※2 体調不良が理由で勤務できない日数 3カ月の平均

※3 サントリーホールディングス、サントリー食品インターナショナル、サントリー、サントリーブロダクツ、サントリーフーズ、サントリービジネスシステム、サントリーウエルネス、サントリーグローバルイノベーションセンター、サントリーシステムテクノロジーが対象

エンゲージメント

エンゲージメント	2021年	2022年	2023年	対象範囲
エンゲージメントサーベイ回答率 (%)	97.0	96.0	96.0	国内グループ※1
サントリーグループで働く誇りに ついての好意的回答者割合 (%)	85	82	85	
サントリーグループで働く誇り (100点満点中) (点)	81	79	81	
会社 (勤務会社) への満足度につ いての好意的回答者割合 (%)	76	73	69	
会社 (勤務会社) への満足度 (100点満点中) (点)	73	72	70	

※1 サントリーホールディングス、サントリー食品インターナショナル、サントリー、サントリーブロダクツ、サントリーフーズ、サントリービジネスシステム、サントリーウエルネス、サントリーグローバルイノベーションセンター、サントリーシステムテクノロジーが対象

従業員数（2023年）

リージョン別 従業員数		41,511
	日本（人）	19,330
	アメリカ（人）	7,538
	ヨーロッパ（人）	5,143
	アジア・オセアニア（人）	9,500
事業別 従業員数		41,511
	飲料・食品（人）	23,532
	酒類（人）	9,999
	その他（人）	6,713
	全社（共通）（人）	1,267

ダイバーシティ（2023年）

	サントリー食品 インターナショナル (アジアパシフィック)	サントリー食品 インターナショナル (ヨーロッパ)	サントリーグローバルスピリッツ	サントリー (日本) ※
新規入社者に占める女性比率 (%)	44	43	46	50
女性従業員比率 (%)	33	32	40	28
男性従業員の平均年齢 (歳)	38	45	42	44
女性従業員の平均年齢 (歳)	37	40	40	40
役員の平均年齢 (歳)	54	52	52	58
女性管理職の比率 (%)	44	43	42	12
女性役員の比率 (%)	8	40	35	11
男性の平均勤続年数 (年)	8	12	8	19.3
女性の平均勤続年数 (年)	7	9	6.3	13.6

※ サントリーホールディングス、サントリー食品インターナショナル籍の正規社員が対象

エンゲージメント（2023年）

	サントリー食品 インターナショナル (アジアパシフィック)	サントリー食品 インターナショナル (ヨーロッパ)	サントリーグローバル スピリッツ	サントリー (日本) ※※
エンゲージメントスコア(100点満 点中) (点)	78	75	81	70

※※ サントリーホールディングス、サントリー食品インターナショナル、サントリー、サントリープロダクツ、サントリーフーズ、サントリービジネスシステム、サントリーウエルネス、サントリーグローバルイノベーションセンター、サントリーシステムテクノロジーが対象